



共通テスト、健闘する！

◆ 出願校決定に向けた個別面談、ボーダー変動に留意しよう。

月曜日の自己採点から数日がたちました。翌日から赤本の閲覧に進路室を訪れる生徒や、登校して学習を再開する生徒が多く、水曜日からは多くの皆さんが特編授業 B に臨んでいます。言うまでもなく、本当の勝負はこれからです。共通テスト→私大→国公立前期→中期→後期までの約2ヶ月間、みなさん現役生の学力は大きく飛躍します。3月の最後の最後まで戦い抜いてください！

また、本校の自己採点結果からは、3年生の健闘が現れていました。次頁には大学入試センターからの「中間発表」、裏面にはベネッセの分析資料と進路指導室からのアドバイスを示しました。今後は志望動向を加えて、本日のリサーチ返却後、担任面談を通じて出願校の最終決定を行います。皆さんの志望をかなえるために、学年と進路指導係の総力を挙げ、可能性を検討して、全力でサポートします。

⇒ ・ボーダーラインと自分の位置を確認し、挑戦を恐れずに「行きたい大学」を受験しよう！

・個別試験の実力がまだまだ不十分な生徒が多いはず、現状を分析し集中して取り組もう！

・最後まであきらめずに、共通テスト前と同様に勉強を続け、そして後期まで粘ろう！

◆ 個別試験対策について

なお、個別試験において共通テストの一部の科目のような高得点狙いは困難です。難関大学では正解率 50～60%が合否ラインとも言われます。問題の難しさを覚悟する一方、合点点で合格最低点をクリアすることを目標にしましょう。形式・分野・難易度などの出題傾向は、大学ごとに特徴があるので、赤本などで過去問研究は必須です。実際に問題を解き、疑問点は教科担当に質問しましょう。攻略ポイントは、①難問だけにとらわれず、できる問題を落とさないこと ②記述式では部分点まで狙うことです。「思考力＝解答過程」が重視され、最終的に誤答や未答でも部分点が加わります。計算途中でも、式を立てて筋道を示すことが大切です。

進路室からの諸連絡（お願い）

① 受験結果はすべて報告すること、面接・実技試験は報告書に協力を！

今後は、受験と合格発表が連続していきます。学校では調査書の発行台帳で管理していますので、すべての受験校について「合否結果」が判明次第、学級担任まで報告してください（まずは電話連絡でも構いません）。また、面接・実技試験を受験した場合には受験報告書に協力をお願いします。

② 不要な赤本の協力をお願いします

4Fにある赤本の多くは先輩の寄贈品です。出願しないことになった大学や、今後の受験を終えて「不要になった赤本」は、後輩のために寄付してくれると嬉しいです。進路室まで届けて下さい。